

## コンサルタント訪問・完！

ご無沙汰しております。少々期間が空いてしまいました。9月2日、3日に前号でもお知らせしたコンサルタント訪問を無事に終え、しばし燃え尽きておりました・・・（というよりも、この訪問の準備のために後ろへ後ろへと押しつけていたあんな仕事やこんな仕事が顔を出し、それらをこなす日々でした・・・笑）。

2日間の訪問期間中は授業の参観や校内の設備や掲示物の確認を行なっていただいた他、面談ではほぼ全員の教職員だけではなく、管理職、生徒、保護者、図書館職員、教育委員会、教育長と非常に幅広くご協力をいただきました。




みなさんの受け答えが本当に素晴らしく、隣で記録をとっていた私も鼻高々でございました。Team鹿追の力が「世界Level」

であることを認定いただく日も近そうだなと手応えを感じることが  
できる2日間でした（まだまだやることは山ほどありますが  
…）。

実際にどんなことを聞かれたり話したりしたか気になるところ  
かと思いますので、今号では生徒面接の様様を紹介させていただきます。

## 生徒面談

前号でもお伝えした通り、今回の生徒面談を受けてくれたの  
は、



コーディネイター  
奥平

### ボランティア 募集します (S A)

ニーズ  
9月と12月にIBの偉い人が来校します。  
そしてその中で鹿中の生徒数名にインタビュー  
をしたいと言われています。あなたの助け  
が必要です。ご協力をお願いいたします

募集内容  
○各学年1-2名程度。まとめて面接を受けます。  
○そんなに難しいことは聞かれませんが、知性とコ  
ミュカを兼ね揃えたそのあなた！是非！！  
○今流行りのS Aの取組にも♪ **切 7月23日**  
※興味のある生徒は奥平に声を掛けてください！

このポスターを見て快く協力を申し出てきてくれた6名の生徒の皆さんです。《1学年：遠藤くん 2学年：浅野くん、亀井くん、西垣さん、横岡くん 3学年 鈴木（康）くん》

30分間の生徒面談で、コンサルタントの大西 洋先生からいただいた質問は以下の通りです。まずはご自身ならどのように答えるかを考えてから続きをお読みいただければと思います。

① IB のプログラムでどのようなことを学んでいますか。 **どのような特徴があると思いますか。**

良いと思うところや難しいと思うところを教えてください。

② **総括的評価課題の取り組み**は難しいと思いますか。

③ ペーパーテストの評価とは違い、ルーブリックでの評価されることは今までにあまりなかったことだと思うが、今実際に返ってきている評定には納得・満足をしていますか。

④ 総括的評価課題の取組には前向きに取り組んでいますか。

⑤ IB の専門用語について、どういうものだと理解しているか聞いていきます。

1 : **学習者像とは？**（授業や学校生活の中でそれを意識する場面はあったか）

2 : **ATL スキルとは？**（授業や学校生活の中でそれを意識する場面はあったか）

3 : **概念とは？**（重要概念、関連概念って何か出せる？）

4 : **グローバルな文脈とは？**

⑥ これは面白かったなーという総括的評価課題はありますか？

⑦ **学問的誠実性**って聞いたことありますか？あなたが課題を提出する時に注意していることはどんなことですか？

んー、どれもなかなか難しい質問ですね。

果たして6名は緊張の中上手く答えることができたのでしょうか？

実際に答えてくれた内容をそれぞれいくつか抜粋してご紹介します。↓

① IBのプログラムでどのようなことを学んでいますか。どのような特徴があると思いますか。良いところと難しいところを教えてください。

横岡くん：総括的評価課題の中で「自分で考えて取り組む」「自分で挑戦する」という授業が多いと思う。独創的なアイデアが生まれたり、自分なりにできるのは良い。意見が合わないときなどは大変だと思う。

西垣さん：良い面としては板書をしない分、考える時間だったり、新しいアイデアを友達と考える時間に回せていること。作る機会が多い分プレゼンも上達したと思う。意見がぶつかった時は大変だけどそれは大人になってからもあること。今学生のうちにいざこざを乗り越えるスキルを身につけておくのは大事だと思う。悪い面としては自分で考えなきゃならない分、提示された課題によってはどうすればいいか悩むこと。

浅野くん：自主的な学習を目的にしている感じなので、自分でやる。自分で行動するというのが身につけられると思う。自分で頑張ることを決められるのが良い点。悪い点は今までは定期テストが一番成績に関わったが、これからは総括的評価課題が成績に響くというので良い成績を取れるのか不安に思う。でも今のところ総括的評価課題の成績は自分が努力した分の結果が返ってきていると感じる。

亀井くん：IBの狙いは全体的な視野だと思う。これまでの板書中心の授業は一方通行の直線的で一つの側面でしか見られない感じだった。一方その人が「見よう」と思わなければ一つの側面のままで終わってしまうことがあると思う。そういう人はIBらしい学びがない上に学習量が減ってしまうことになる。

鈴木くん：今まで受動的な学習だったのが、自ら動くようになったので、自分でのやりやすさが上がった。板書中心の授業ではここまで（低め）だった学びが、自分次第でもっと上げていけるのがメリットだと思う。同時にそれは差が付きやすいということなのでデメリットにもなるかもしれない。まだ総括的評価課題がこれまでの定期テストと同等のものと分かっていない様子の方がいたりするので取組に差が出ているように思う。

遠藤くん：IBでない中学校で過ごしたことがないのでよくわからないが、小学校の時はノートに書いてあることからテストという感じだったけど中学校ではそれだけではなかった。中学校の勉強では1日にノートを何ページも書いたり、暗記したりすることが多いよと聞いていて、自分はどちらも苦手だったので心配していた。IB



の勉強ではそういう時間ばかりではなかったので自分が思っていたよりも取り組みやすくて安心した。



② IBの専門用語について、どういうものだと理解しているか一つずつ聞いていきます。

1：10の学習者像とは？（授業や学校生活の中でそれを意識する場面はあったか）

→亀井くん：未来で良い大人になるために必要になっていく能力を10個集めたもの。意見を隣の人と交流しようという場面や振り返りの場面など色々な場面で使っていると思う。

2：ATLスキルとは？（授業や学校生活の中でそれを意識する場面はあったか）

→浅野くん：IBで自主的に学びを進めるために必要になるスキルだと思う。 コミュニケーションスキルなどチームで学ぶために必要なスキルや、国語であれば自分の考えた意見を批判的に考える時に使うスキルがある。学生時代は学習をより良くするために使えるし、大人になっても必要だなと思う。

横岡くん：今の仕事はやってと言われたことをこなすことが多いが、これからは変わっていく。AIが登場していくから。このスキルはAIにできないことが集まっていると思う。

3：概念とは？（重要概念、関連概念って何か出せる？）

→・・・??

4：グローバルな文脈とは？

→・・・???!

③ これは面白かったなーという総括的評価課題はありますか？

→浅野くん：歴史でやった、キリストの布教が良いものかどうかについて自分が家臣という設定で支配者に手紙を書くという授業はユニークで面白いなと思った。

鈴木くん：理科の学習で現在普及しているリチウムイオン電池に代わる次世代の新しい電池についてネットショッピング風に紹介しようという課題があった。自分はプレゼンを作ったりするのが好きなので楽しかったし、クラスメイトの発表も聞いてより理解できたし自分に合った学習だと思った。

④ 学問的誠実性って聞いたことありますか？あなたが課題を提出する時に注意していることはどんなことですか？

→聞いたことはある。課題提出の時に気をつけること。例えば参考文献など使ったものを載せること。提出物の期限を守ること。課題に沿った内容になっているかに気をつけること。参考文献を書かなかったり、盗作のようになっていると評価が下がるというのがグループワークにも書かれていた。

いかがでしょう。自分が12-15歳の頃に、大人相手にこんな立派なことは絶対話せなかったなと私は思います。大人顔負けとはこのことです。

この面接の場面もそうですが、IBを取り入れ、生徒を主体にした学びを学校全体で進めていると、自分はこれまで中学生ができることやその可能性について、勝手な線引きをしていたのではないかと思ひ知らされる瞬間が多くあります。嬉しさ半分、これまでの子どもたちへの申し訳なさ半分です。鹿中生の今後のさらなる成長が楽しみです。

そんな彼らでも「概念」や「グローバルな文脈」という質問についてはなかなかうまくは答えられませんでした。しかしそれもそのはず。これらの新しい用語についてはまだ私も先生方も、みなさんにきちんと説明できるほど深い理解に至っていないものだからです。

使いこなせれば非常に強力な武器になるようですが、そこに至るまでにはもう少し修行が必要そうです。

まずは我々教員が1日も早く使いこなせるようになり、生徒のみなさん、保護者のみなさんにお伝えしていくということが当面の大きな課題の一つといえます。



次号ではこのように、訪問を終えてコンサルタントの先生からご指摘いただいた、本校が認定に向けて（＝より良い教育を提供するため）解決していくべき「課題」についてお伝えしていければと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

# ※現在本校生徒が取り組んでいる「Unit2」の総括的評価課題

## 総括的評価課題概要まとめ《1年生編》

教科	課題の概要（役割＋状況・課題＋成果物など）	重要概念
言語と文学 【国語】	あなたは大企業の社長です。自社への就職を志す若者たちを前に、講演会を行うことになりました。若者たちが親しみをもって話を聞けるよう、講演の題目は「私の発見」とし、自分が若い時に体験したエピソードと、そこから若者たちに伝えたいメッセージについて話すこととしました。自分の思いが説得力をもって伝わるように発表原稿を書き、若者たちの前で発表してください。	コミュニケーション
数学	あなたは学校の先生です。来年度入学する新入生の上靴を予約するために、自転車で帯広まで出かけます。関数における比例と反比例の知識等を応用し、無駄のない上靴の注文表と、効率のかつ無理のない日程表を作成します。	関係性
個人と社会 【社会】	あなたは歴史学者です。池上彰さんの番組にゲストとして招待されています。番組のテーマは日本を支えてきたリーダーたち。そこであなたはコメンテーターとして今後のリーダーとなる人の特徴を考察し発表してください。	時間・場所・空間
理科	身のまわりには様々な物質が存在し、その性質などについて学習しました。物質の性質を利用して、見る人が驚くような変化を手品のように実演できないだろうか？（総括的評価課題：サイエンスマジックの実演動画と解説レポート）	変化
言語の習得 【英語】	あなたは映画の脚本家です。映画の登場人物にはその人にしかないバックストーリーがあります。新作映画をより面白く、良い作品にするために登場人物についてのイメージは出来上がっています。その人物のバックストーリーを創造して、脚本の足がかりにします。より面白いストーリーになるような人物像を考えて映画制作スタッフによく伝えるレポートを書いてください。	創造性
芸術 【音楽】	あなたは、そもそも歌うことや奏でるという音楽表現の根本は何なのかということに疑問を抱きました。そこで、歌曲「夏の思い出」を使って「人に美しいと感じさせる表現をするには」というテーマを掲げ、探究をしてみることにしました。楽曲の作詞がされた背景や内容にも触れながら作品を分析するとともに、この曲についての解説書を作成し相手に伝えてください。	美しさ【美的完成】
芸術 【美術】	あなたは美術を学ぶ学生です。同じ学生と一緒に美術作品の様々な見方（鑑賞）を広げるため、自分の好きな美術作品について調査し、プレゼンテーションしてください。（総括的評価課題：プレゼンテーション）	アイデンティティ
保体	あなたはコーチです。チームメイトに練習メニューを考案して練習させる役割を担っています。チームの選手たちの技能や知識の差はあるが、それぞれの技術の向上を目指して計画を立てることにしました。①各々の状況を踏まえた構成である②無理がない負荷である③効果的であることを満たすことのできる練習メニューを考案してください。	変化
デザイン 【家庭】	①鹿追中学校制服・校内服等検討委員会として、近未来の鹿追中学校の制服・校内服をデザインしてみよう！②体育館での避難所生活（夏季と冬季の両方）を想定して、安心・安全を考えて、学校を改善したり、生活を工夫したりして、人々との居心地をよくするために中学生としてできることについてまとめてみよう！	発展
デザイン 【技術】	領域A；あなたは鹿追町の「環境にやさしいものづくりへの提言！」に提案書を提出する中学生です。デザインサイクル（探究と分析、アイデアの発展）をいかし、ソリューションを相互評価しましょう。志を高く、より良い世の中や循環型社会を踏まえての提言をめざしましょう。（総括的評価課題は、プレゼンテーション）	コミュニティー

バックナンバー	概要
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.1</a></p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や<b>国際バカロレアとは何か?</b>について書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.2</a></p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。<b>当日の動画や資料も見られます。</b></p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.3</a></p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた<b>参観授業（国語）を IB 視点で解説</b>しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.4</a></p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を<b>《概念》</b>と絡めて書いています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.5</a></p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から<b>《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》</b>に対する工夫について紹介しています。</p>
<p><a href="#">鹿中 IB 通信 NO.6</a></p>	<p>IB 教育の大きな柱である<b>ATL スキルと 10 の学習者像</b>とはどういったものかについて、<b>道徳の授業実践</b>を元に解説しています。</p>

<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></a></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></a></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></a></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></a></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><a href="#"><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></a></p>	<p>「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>